



十中だより

6月号

令和7年6月12日
文京区立第十中学校
校長 南 英昭

行事本格化

5月から6月にかけて十中では大きな行事が次々と実施されました。5月19日の運動会に始まり、24日からは3年生の修学旅行が実施されました。その後も6月に入り学校防災宿泊体験として、2年生が様々な訓練を経験しました。それぞれの行事は、目的や場所も違いますが、しっかり準備して真剣に臨むことで、たくさんのことを学び、自身を成長させる貴重な機会になったのではないのでしょうか。今号は、この間に行われた行事を紹介いたします。

運動会

5月17日(土)は雨のため、5月19日(月)に第77回運動会が開催されました。平日にも関わらず、多くの保護者の方、地域の方に見守られ、実施することができました。例年通り六義公園運動場の方々の協力を得て、素晴らしい環境の中、思いっきり体を動かすことができました。当日は、生徒の頑張りを祝福するように曇り空で始まった運動会は、いつの間にか晴天になり、十中生をより輝かせてくれました。



開会式

《個人種目》

長距離走がなくなり、全生徒が80mを走りました。今回のスローガン「十中魂 心ひとつに 走り切れ!」の通り、直線で80mを最後まで精一杯走ることができました。普段の学校では、長くて50mしか真っ直ぐ走ることができないため、運動会が最長距離だった人もいたかもしれませんが、しっかりゴールまで走り切ることができました。



80m 走

《団体種目》

各学年とも学級対抗リレーと学年種目を実施しました。学級対抗リレーでは、学級を2つに分け4チームでリレーを行いました。1つのバトンをみんなでつなぎ接戦を繰り広げました。学年種目では、作戦会議をしながら競技を行ったり、声掛けをしながら仲間を励ましたりして団結力を発揮しました。クラスの心がひとつになり、結束が高まりました。



2年学年種目



3年学年種目

《みんなで作る》

今年度は学級数が揃ったことにより、縦割りによる他学年への応援も目立ちました。メガホンを使った声での声援やクラス旗を使った応援などは競技者にとって大きな力となっていました。みんなで行事をつくる意識が高くお互いを認め合うことができる十中生の素晴らしさを改めて実感する日となりました。



3年創作ダンス



応援

第3学年 修学旅行

3年生は、5月24日（土）から26日（月）まで関西方面へ修学旅行に出かけました。

1日目は東海道新幹線で新大阪まで行き、大阪万博を見学しました。今回の万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、団体予約で割り当てられたパビリオンは「最新の医療技術」が展示されていました。IPS心筋シートやIPS心臓など貴重な展示物も観ることができました。夕方には、興福寺の国宝館で、学校で学んだ国宝等をじっくり堪能することができました。

2日目は奈良から京都へ電車・バスを利用した班行動、3日目は京都でのタクシー班行動を行いました。班行動は自分たちで見学地を選び、コースをつくり、学習した名所を現地で見学しました。

土日ということもあり、見学地は観光客で混雑していましたが、それも想定しながらコースを計画していたため、どの班もほぼ予定通りに見学することができました。また、海外からの観光客をどこでも多く見かけましたが、万博も含めて国際理解の良い機会となり、3年生にとっては特別な修学旅行になりました。



清水寺



金閣寺

第2学年 防災宿泊

6月6日（金）、7日（土）で学校防災宿泊体験を2年生が行いました。

災害時に「自分の身を守る力を付ける」「自分たちができることを見付け行動する力を養う」ことを主な目的として実施しました。小石川消防署、文京区防災管理課の方々の協力を得て、初期消火訓練、煙体験、通報訓練、搬送訓練など様々な体験をすることができました。今回学んだことを家庭や地域での実生活に活かしてほしいと思います。

